

令和5年度 静岡大学農学部生物資源科学科
総合型選抜試験問題

[小論文]

令和4年9月23日(金)
9時00分～10時30分

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、問題冊子等に手を触れてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書き用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題冊子 . . . 1 冊 (2枚)
解答用紙 . . . 2 枚
下書き用紙 . . . 2 枚

令和5年度 静岡大学農学部生物資源科学科総合型選抜

[小論文]

問題 1

下表は1965年から2020年までのわが国における農業労働力の推移を示している。この表のデータから、わが国の農業労働力について、どのようなことが言えるか、そう考えた理由もあわせて答えなさい。また、将来、わが国の農業労働力はどうなると予想されるか、あなたの考えをその理由とともに答えなさい。

解答は、400～500字の間で書きなさい。(配点50%)

表 わが国の農業労働力の推移

(単位:万人、%)

	1965年	1975年	1985年	1995年	2005年	2015年	2020年
農家戸数(万戸)	567	495	438	344	285	216	175
基幹的農業従事者数	894	489	346	256	224	175	136
うち65歳以上割合	—	—	19.5	39.7	57.4	64.6	69.6
女性の基幹的農業従事者数	475	259	170	119	103	75	54
うち65歳以上割合	—	—	13.5	33.0	54.5	64.7	70.0
基幹的農業従事者に占める女性の割合	53.1	53.0	49.2	46.4	45.8	42.7	39.7

資料:農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」、「食料・農業・農村白書参考統計表 平成29年版」

注1)1980年以前は農家の数値、1985年以降は販売農家の数値。

2)農家とは、経営耕地面積が10a以上又は農産物販売金額が15万円以上の世帯をいう。

基幹的農業従事者とは、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。

問題 2

まず、あなたが住んでいる地域(地域の範囲は最大都道府県単位)の農業、林業、もしくはそれらに関する産業のうちいずれか一つについて、どのような特色・特徴があるか、また、その特色・特徴はどのような要因によって生まれたと思うか、それぞれ述べなさい。

次に、あなたが将来その地域の農業、林業もしくはそれらに関する産業を発展させる仕事に就くと仮定した場合、あなたは入学を希望する大学において、どのようなことを学べばよいと思うか、答えなさい。

解答は、400～500字の間で書きなさい。(配点50%)

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文試験	問題番号	問題 1
実施学部・ 学科(課程)等	農学部・生物資源科学科		
出題のねらい	データから情報を正しく読み取ることができる分析力、それを文章として矛盾なく説明できる論理性・表現力をみることをねらいとする。データから予想できる発想力・思考力、農業労働力に関する知識も問う。		
採点基準	<p>次のような内容が示されているかについて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家戸数、基幹的農業従事者数がともに減少していることから、農業労働力不足が懸念されている。 ・その一方で65歳以上割合が増加していることから、高齢化が進んでいる。 ・戸数の減少割合と比べ、従事者数の減少割合の方が大きいことから、農家内における農業従事者数が減少していることが予想される。 ・過去には男性よりも女性の従事者数が上回っていたが、その後男性に比べより減少している。 ・高齢化率は男女同率であるが、女性の農業従事割合が減少していることから、農家内の65歳以下の女性の農業従事者が男性に比べより減少していることが伺える。 ・データの推移から、このままでは農業従事者(特に女性従事者)は減少し、高齢化も進み、農業労働力がさらに衰退することが予想される。 ・そうならないため、有効な対策(新規就農者を増やす、企業参入を促進する、法人化による経営強化、等)が必要であることが述べられている(加点対象とする)。 <p>上記した以外に、対策に関する発想の豊かさ、比較検討する分析力や思考力、さらに論理展開と表現力、文章構成力を加味して採点する。なお、指定された字数を超過、ないし不足する場合は形式点の減点対象とする。</p>		

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文試験	問題番号	問題 2
実施学部・ 学科(課程)等	農学部・生物資源科学科		
出題のねらい	農業や林業、関連する産業への関心、知識、状況などを正しく説明できる論理性・表現力をみる。問題解決のための洞察力・発想力、学習の意欲なども評価する。		
採点基準	<p>地域の農業、林業もしくはそれらに関する産業(いずれか1つ、たとえば園芸、スイカなど個別品目についての説明でも可、農林業に関する産業は食品産業・林産業なども含む)の特色を、要因(気候、土壌、立地、歴史などから適地であることなど)も示しながら答えているかについて評価する。</p> <p>上記した事項に関して、発展方向についての考えを示しているか、そのために大学で学べばよいことを具体的に説明できているかについて評価する。</p> <p>地域農林業に関する知識や着眼点、発展に関する発想の豊かさ、学習意欲を加味して採点する。なお、指定された字数を超過、ないし不足する場合は形式点の減点対象とする。</p>		